

タイ首都圏水道公社 (MWA) の浄水場向けポンプ受注

バンケン浄水場の取水ポンプと送水ポンプを更新

タイ首都圏水道公社 (MWA : Metropolitan Waterworks Authority) が運営するバンケン浄水場向けポンプ設備の更新事業を、タイ地元企業との連携により受注しました。

MWAと日本との関係は長く、日本政府による「上水道整備事業」や「配水網改善事業」への国際協力は30年以上前から始められています。以後、現在に至るまで日本の技術はタイ首都圏(バンコク)における上水道給水率の向上に大きく貢献しています。

今回の更新事業では、バンケン浄水場内の老朽化した機械、電機設備を更新し、より安定的な上水道供給を行うことが目的です。取水ポンプには横軸斜流ポンプ (SP型)、送水ポンプには両吸込ポンプ (CDM型) が採用され

ますが、当社の日本国内におけるインフラ事業での豊富な実績をはじめ、長年培ってきた高効率で信頼性の高い設計とポンプ製造技術を高く評価いただき、受注することができました。

タイでは今後も生活水準の維持・改善を推進していくために、上水道の整備が継続され、同様の更新事業や新規整備事業が予定されています。トリシマも引き続き高い技術力を提供していくことで、同国のみならずASEAN各国のインフラ発展にも貢献していきます。

ポンプ名称	No.8 取水ポンプ	No.11 配水ポンプ
口径・形式	SP1500	CDM1350×1000
台数	1台	1台
原動機容量	1,000 kW	2,100 kW